

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和7年度）

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
指定管理者の名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
施設所管部課（室）	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治	

（注）管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
	所在地	東京都中央区新川一丁目21番2号
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年0ヶ月）	
募集方法	○公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター	
所在地	名取市関上字東須賀2-20	
設置年月	令和2年10月3日	
根拠条例等	名取市サイクルスポーツセンター条例	
設置目的	市における地域の活性化及び市民の健康増進に資することを目的とする。	
施設の内容	スポーツ・レクリエーション施設	
開館時間（主な施設）	宿泊施設	午後3時から翌日の午前10時まで
	屋外施設	午前9時から午後5時まで(12月から3月までは、午前9時から午後4時30分まで)
休館日	無休（※日帰り温泉は毎月第2水曜日休み）	
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務	
利用料金制度	採用の有無	有 ・ ○無
	利用料金の名称	

4. 施設の利用実績【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A) - (B) / (B) \times 100$
	令和7年度	令和6年度	令和5年度	
開館日数	365日	365日	365日	0.00%
延べ利用者数	152,618人	159,041人	151,147人	-4.04%
利用者数（人/日）	418.1人/日	435.7人/日	414.1人/日	-4.04%
主な増減原因	4月、5月におけるゴールデンウィーク期間天候不良による、屋外施設利用者減のため。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A) - (B) / (B) \times 100$
	令和7年度	令和6年度	令和5年度	
指定管理料	155,000	155,000	155,000	0.00%
利用料金収入				
その他				
収入計（ア）	155,000	155,000	155,000	0.00%

（2）支出

人件費	98,060	97,230	94,517	0.85%
施設管理費	43,378	41,042	36,933	5.69%
事業運営費	18,886	19,339	22,093	-2.34%
その他				
支出計（イ）	160,324	157,611	153,543	1.72%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	-5,324	-2,611	1,457	103.91%
前期繰越収支差額	10,741	13,352	11,895	-19.56%
次期繰越収支差額	5,417	10,741	13,352	-49.57%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・乗れない子の自転車教室開催。（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、3月）計：63名
 - ・乗れない子のプライベート自転車教室。（6月、7月、8月、9月、11月、12月、1月、2月）計：15名
 - ・サイクリング早朝自転車練習会（日曜日・不定期）計：703名
 - ・サイクリングツアー（閑上・熊野三社）（4月）計：2名
- <温泉>
 - ・毎月のイベント湯実施。・日帰り温泉パックツアー実施。（7月、11月、3月）計：23名
 - ・温泉スタンプラリー実施。・温泉イベントカレンダー実施。
 - ・冷え冷えシャンプー実施（7月、8月）
- <イベント>
 - ・キッズサマー&スプリングキャンプ実施（7月、8月、3月）計：101名
 - ・ムラサキスポーツスケートボード体験会（6月）計：23名
 - ・5周年アニバーサリーイベント（10月）・ママチャリレース開催（10月）
 - ・閑上ビーチクリーン実施。（7月）計：10名
- <レストラン>
 - ・HACHI地域貢献イベント（8月～2月）
- <その他>
 - ・なとり夏祭り開催（8月）・キッチンカー出店（4月～10月）

7. 施設利用者の主な声やその対応状況【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・サイクリングロード逆走禁止の為、コーンにて仕切り設置及び繁忙期はスタッフ巡回にて啓蒙。
 - ・おもしろ自転車広場前の巡回強化。土日祝祭日は、常時1名配置。拡声器にて注意喚起実施。
 - ・繁忙期の土日祝祭日は、マナーアップの館内放送徹底。
 - ・プライベート自転車教室好評の声多数あり。
- <温泉>
 - ・温泉利用マナーPOP掲示。（随時ご意見をいただきマナーの件について掲示強化）
 - ・靴履き間違い防止の為、下足箱近くに洗濯ばさみ設置。また、コインリターン式の鍵付き下足箱設置。
 - ・浴室イスを白から汚れが目立たないグレーに変更。
- <宿泊>
 - ・販売促進の為、客室に1Fショップコーナーのご案内設置。
- <ショップ>
 - ・盗難防止の為、防犯カメラ設置ポスター掲示。

8. 施設の管理運営における課題【指定管理者記入】

- ・施設の中長期修繕計画
- ・屋外施設閑散期の利用者促進策
- ・屋外施設の塩害による錆び対策
- ・日帰り温泉利用者問題（マナー、入れ墨など）
- ・サイクリングロード内においての小学生以下の単独走行

9. 管理運営状況【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	◎	◎
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	◎	◎
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	◎	◎
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	◎	◎
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	◎	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	◎	◎
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価【施設所管課記入】

指定管理者による施設運営については、協定書等に基づき適正かつ円滑に行われていることを確認した。JV間における定例会および市との定期打ち合わせが少なくとも月1回以上定期的に開催されており、日々の情報共有や連絡体制についても緊密かつ良好に維持されている。また、各種証憑類についても適切に整理・管理されている。

本年度の施設利用者数については、前年度の159,041人から若干減少し152,618人となったものの、これは最大の稼ぎ時であるゴールデンウィーク期間中の悪天候による屋外利用者の減少が主要因であり、指定管理者の運営に起因するものではないと判断する。一方で、日帰り温泉の入浴者数は前年を上回り向上をみせており、悪天候時であっても安定した集客と施設運営ができるよう、屋内コンテンツの強みを活かした体制構築がなされている。

運営面においては、館内放送や拡声器による注意喚起等を通じた利用者のマナー向上対策に注力しており、快適な利用環境の維持に努めている姿勢が評価できる。また、沿岸部のアクティビティ兼宿泊施設という立地特性を鑑み、地震発災時や津波注意報・警報発出時における適時適切な避難誘導體制が構築・実践されていることを確認しており、安全安心な施設運営への配慮についても高く評価する。